

# 明日の家族を考える会 会報



第21号

2011年2月

・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絏一 ・事務局長 中村厚子  
・発行責任者・編集人 羽賀絏一 ・毎月1回発行  
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011  
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

## 2月度幹事会

○日時 2011. 2. 24 (木)

19:00~21:30

○場所 中村邸

○出席者確認 (敬称略) 大脇、河村、中村、羽賀、榎本、宮本、安井、以上7名

○配布資料 会報第20号 (2011年1月)

○報告事項

\*事務局報告・・・中村事務局長

1. ウィザス協議会報告 当会の作業分担

①3月6日午後の落語会の会場設営

・3月6日(日)午前9時30分集合(参加予定:河村、中村、榎本)

・舞台まわりの設営は、河村さんの知人頼田さんに依頼した。

・持込品:脚立、座布団、緋毛氈、演目めくり台

②共同作品の作成

③「ウィザスフェスタ2011」のポスターを市内広報板に貼り付け&撤去作業の  
分担

④バザー用品の搬入

2. 相談案件 山本さんが対応、経過観察を継続中

3. 国際ソロプチミスト神戸東のクローバー賞候補者推薦の件

安井さんから所属する国際ソロプチミスト神戸東のクローバー賞の候補者に河村  
さんを推薦したいとの申し出  
があり、賞の趣旨や選考基準  
の説明を受けた。

当会としても異論のないところ  
であり、是非、ご推薦をお願い  
する。推薦文は羽賀会長が作成  
する。3月10日(木)締切。

4. 「ひょうご女性未来会議」実行  
委員要請の件、関係資料配付  
「ひょうご女性会議」について  
大脇さんからの説明を受け、要  
請のあった実行委員に中村さん  
を推薦することを了承。2011



梅の花



年度「ひょうご女性未来会議」は、6月5日(日)福祉センター多目的ホールで開催される。

5. 3月8日に開催される第10回公開学習会の申し込み状況

当会での受付分は幹事を含めて 2月24日現在23名である。まとめてウィザス協議会事務局へ連絡する予定である。

6. 会報、会費請求書、「ウィザスフェスタ2011」のチラシを正会員に発送した。  
会費の振り込み方法は、その方法が複数あり手数料も種々であるので、次年度に改善する必要がある。

\*会計報告・河村担当  
後期会費の納入の件

\*HP報告・大脇担当

特になし。内容について要望があれば大脇さん迄申し出ること

\*カルガモクラブ、バンビグループ、まちの寺子屋報告・河村担当

・カルガモクラブは、寒さのためか比較的参加者が少ない。

・バンビグループには、2人目の赤ちゃんを同伴するお母さんが複数有り、人数が30名を超えることもある。その時間は、お母さんが第1子とゆっくり遊べるので好評のようである。

・まちの寺子屋シリーズ2月25日(金)に開催する。内容は折り紙でひな人形を作成する。

○審議事項

・ウィザスフェスタ2011における3月6日の分担作業、8日の公開学習会での準備作業の確認

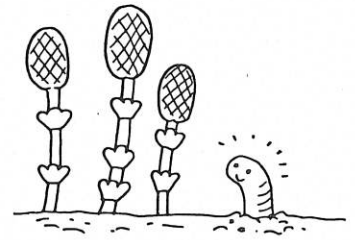
・「ひょうご女性未来会議」について 上記で審議済みであり省略。

○卓話：「私の健康法」安井さん

若い世代との交流、友人とのつきあいを大切にする。「早寝、遅起き」がモットーである。

○次回幹事会

2011年3月24日(木) 19:00～中村邸



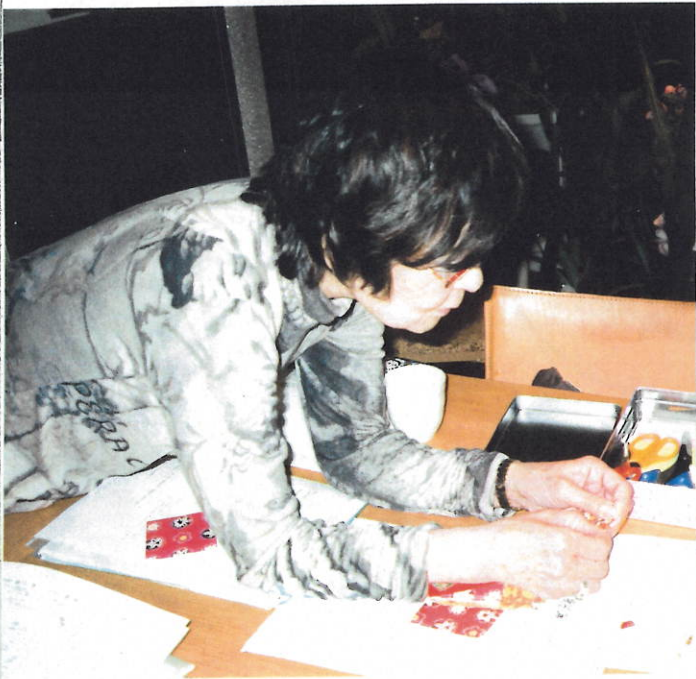
羽賀さん



大橋さん



2月25日(金) まちの寺子屋で子どもたちに作ってもらった折り紙のひな人形を実際にみんなで作ってみました。



中村さん

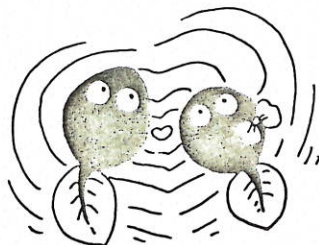


安井さん

宮本さん



折り紙のひな人形



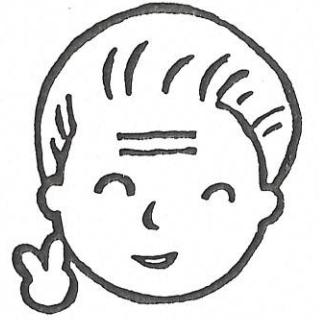
河村さん

榎本さん

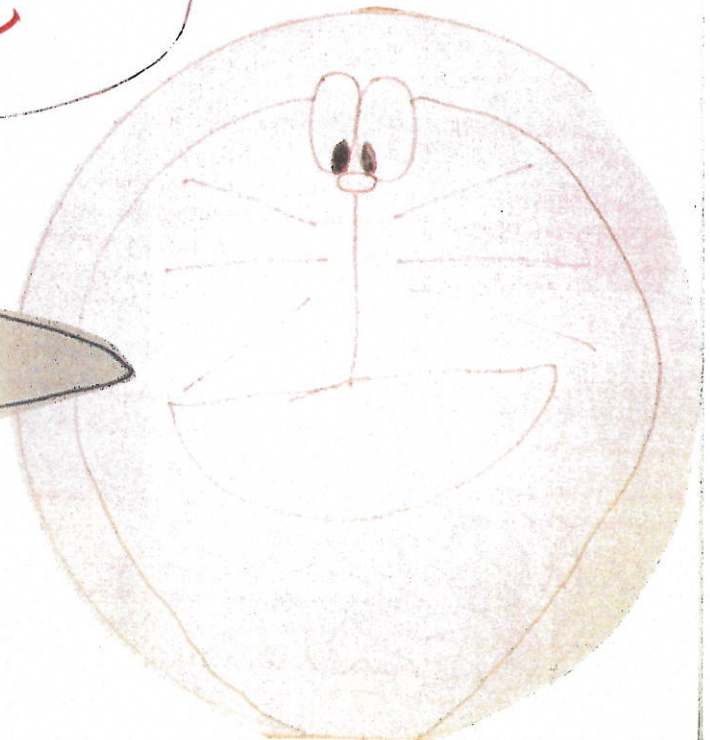
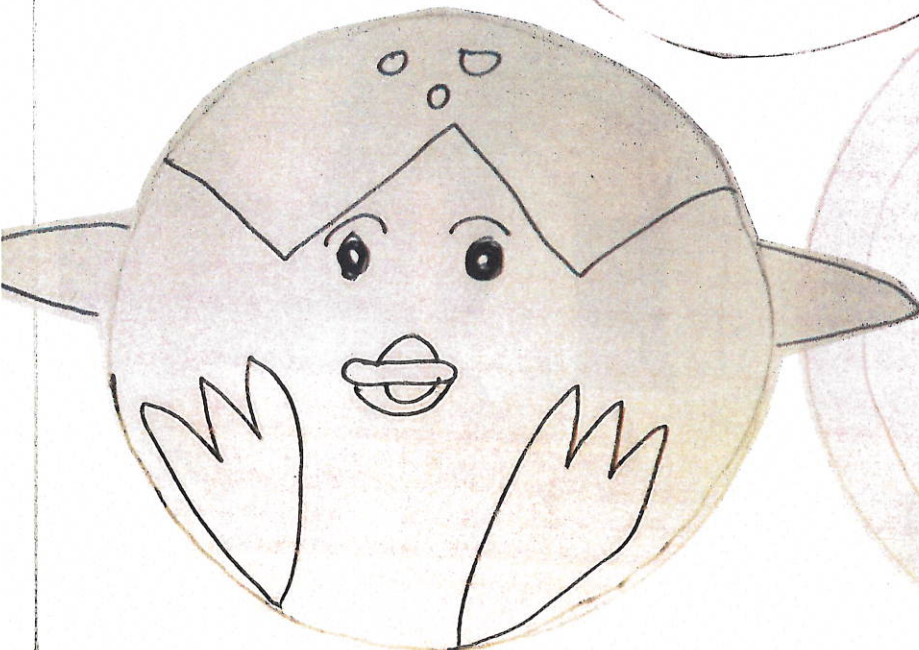
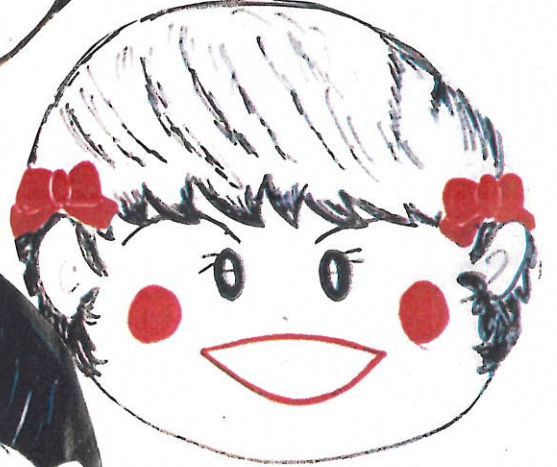
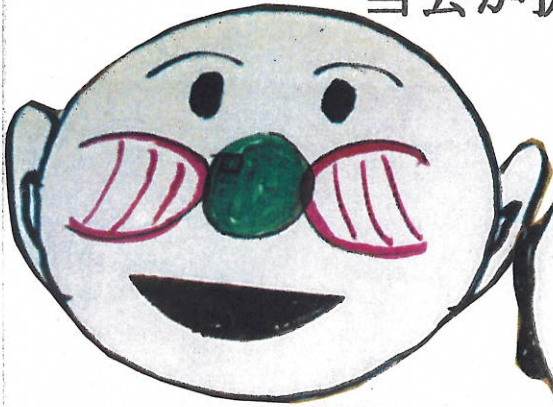




○笑ってウィザス 2011  
= 芦屋の元気 =



当会が提出する「顔」の作品





# ○2月の子育て支援活動

## \*カルガモクラブ 河村さん担当

第2・第4木曜日10:00~11:30

西蔵集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。

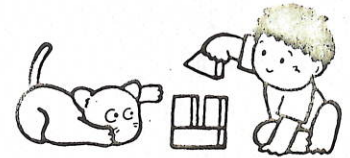


2月10日(木)は、**2組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん

24日(木)は、**2組の親子**が参加されました

参加ボランティアは、辻原さん





兵庫県委託事業 NPO と行政の子育て支援会議運営事業

## 地域子育て支援交流会



当会バンビグループ協力

NPO 法人 さんぴいす主催による交流会が2月8日(火) 10:30~11:30打出集会所で行われた。

この交流会は、阪神南地域全体(芦屋・尼崎・西宮)でこれまで行ってきた交流会で出た意見を、各市の子育て支援代表者がそれぞれに持ち寄り、本当にしてほしいおせっかいが地域によって違うのか? また子育て中のお母さんがほんとにしてほしいおせっかいとは何か? について意見交換を行った。

**15組の親子** が参加されました。この内6組の方が第2子と一緒に3人参加でした。

参加ボランティアは曾我部さん、徳田さん  
主催のさんぴいすから河口さんが参加されました。



【主催】NPO法人 さんぴいす

【協力団体】(芦屋) 子ども会連絡協議会・明日の家族を考える会(バンビグループ)

(尼崎) アシストマミー・やんちゃんこ

(西宮) にしのみや遊び場つくろう会





河村さん

**\*バンビグループ** . . . 河村さん担当

第2・第4火曜日 10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象

2月22日(火)は、13組の親子、

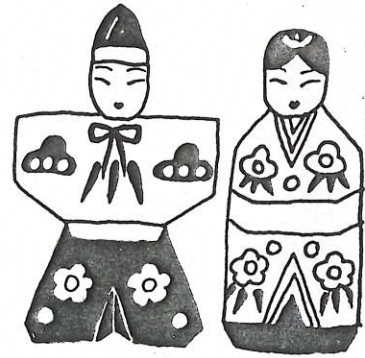
子どもは19名 が参加されました。

参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん





## 県民交流広場事業



# まちの寺子屋

2月25日(金) 15:30~17:00前田集会所にて  
=折り紙でひな人形づくりを楽しむ=

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学生を対象に毎月第4金曜日、15:30~17:00に前田集会所(前田町8-1.7)で開設しています。

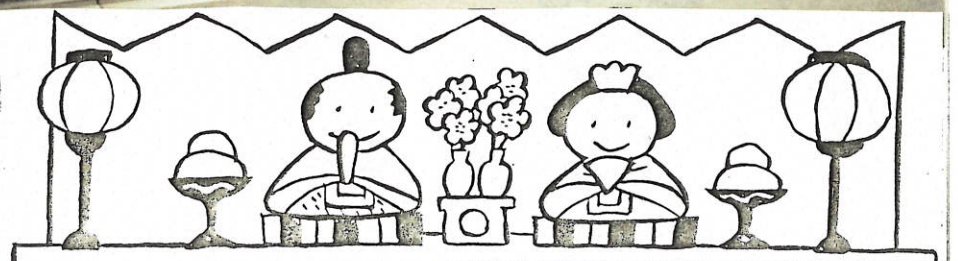
絵本の読み聞かせ、読書、紙芝居、いろいろなおもちゃづくりなどをして楽しんでいます。

今日の参加者は9名(男の子8名・女の子1名)でした。

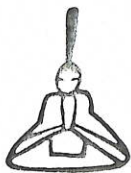
めずらしく男の子が多かったのですが、折り紙でひな人形を作りました。

ひな人形は3月3日の桃の節句(ひな祭り)の日に女の子を祝うための人形です。子どもに身代わりとなり、事故や病気から守ってくれ、子どもの健やかで幸せな成長を祝うために飾られます。

ボランティアは、曾我部さん、正会員の参加は河村さん、楨本さん





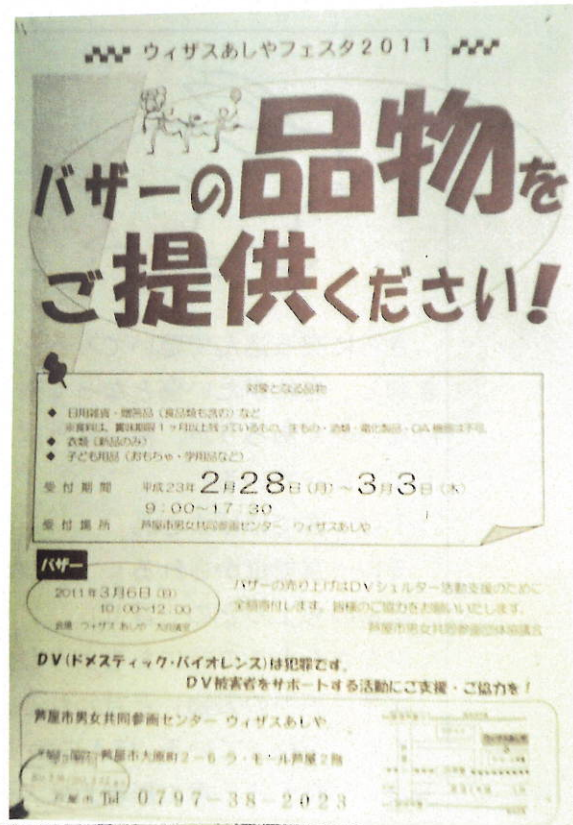
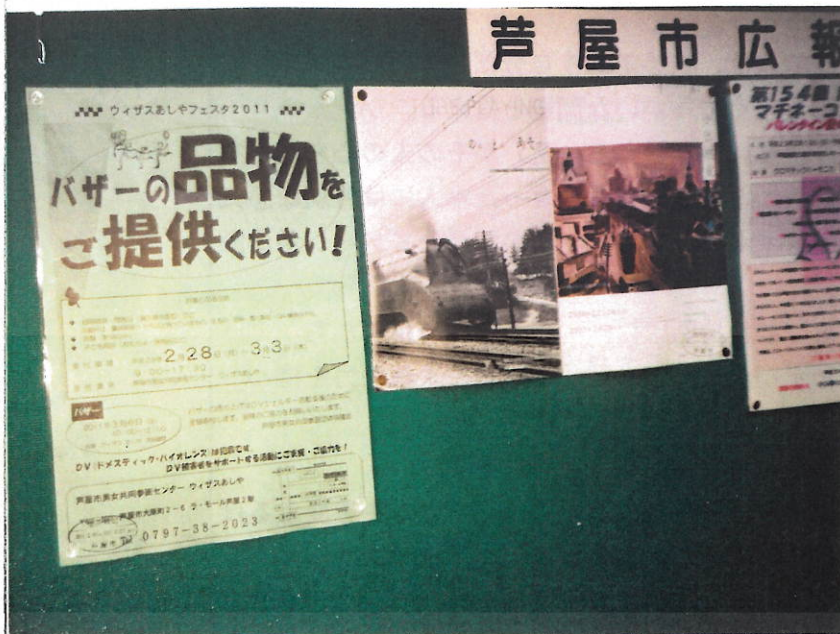


折り紙のひな人形完成

### ウィザスフェスタ2011のポスター貼りについて

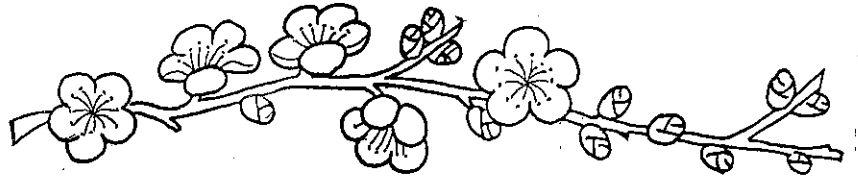
最初に9日～22日までバザー商品提供のお願い(緑色)を貼って22日にウィザスフェスタ2011のポスターに張り替える。そして3月7日の撤収です。担当は下記の通り。

- 守上さん 南芦屋浜地区=キャナルパーク 5箇所
- 榎本さん 奥池地区4箇所と水車谷バス停北 計5箇所
- 三木さん 朝日ヶ丘4箇所
- 羽賀さん 山手町1箇所
- 河村さん 清水町1箇所
- 中村さん 東山町1箇所





=知っておきたい知識=



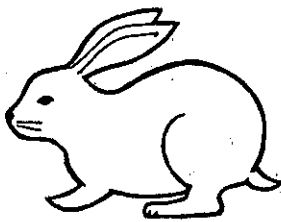
## 大人になったらやりたいことは何ですか？

日本能率協会総合研究所が小学5年生から中学3年生の男女200人を対象に将来大きくなったらどんなことをしたいか尋ねたところ、圧倒的に多かったのが、性別、学年を問わず60%以上が「仕事をしたい」という回答であった。

理由として「なりたい職業があるから」、「仕事をしている姿はカッコいい」というあこがれに加えて「働かざる者食うべからず」、「お金を稼ぐため」、「社会の役にたつ」と大人さながらの意見も多くあった。

女子は2位「結婚をする」、6位「子どもを育てる」、7位「親孝行をする」、「アルバイトをする」などが男子よりも多い。一方男子は、3位「自動車を運転する」、4位「好きな物を好きなだけ買う」、5位「時間を気にせずゲームをする」が女子よりも多く、2位以降は男女の違いが鮮明に表れている。

1位	仕事をする	61.5%
2位	結婚をする	35.0%
3位	自動車を運転する	34.5%
4位	好きな物を好きなだけ買う	30.0%
5位	時間を気にせずゲームをする	20.5%
6位	子どもを育てる	20.0%
7位	親孝行をする	15.0%
8位	アルバイトをする	15.0%
9位	一人暮らしをする	14.0%
10位	時間を気にせずテレビを見る	13.0%



### 編集後記

私たちの生活で強い不安や悩み、ストレスの要因を掘り下げてみると、何よりも多いのが人間関係に関わる問題であろう。

人間関係は、相手があり自分だけでは解決がつかないことも多くやっかいな問題と言える。

さらに突っ込んで聴いてみると、意外に多いのが「ある一言」がその人の心を深く突き刺し、忘れがたい傷となって残っていることに起因する。言った本人には特別な悪気はないのであろうが、言われた本人はプライドが傷つき、相手の粗暴なイメージが沈殿してしまっている。

「その一言ではげまされ      その一言で夢を持ち      その一言で腹がたち  
その一言で泣かされる      ほんのわずかな一言が      不思議に大きな力を持つ  
ほんのちょっとした一言で」

みなさんもこの詩にあるような体験をされたことがあると思います。

「言葉は両刃の刃物」と言われるように自分の一言が、ときには相手の人生を変えるほどの魔力を持っている。ほんのわずかな一言で人はやる気になるし、やる気もなくなる。あなたの発する一言の影響力は大きい。くれぐれもご留意ください。 (羽賀)